

順位一、一九六 元調査局地點一四八五ヲ下ニ延長セル
モノナリ水路ヲ右岸ニトリ大部分隧道トスヘシ

順位一、一九七 右岸ヨリノ支流溪谷合流點ノ下ニ取入
レ次ノ支流合流點ニ放水スヘシ水路ハ大部分隧道トスヘシ

順位一、一九八 白嶺ニ於ケル支流合流點ヨリ取り宇那
川ヨリ來ル支流合流點ノ上ニ放水スヘシ水路ハ右岸ニト
リ大部分隧道トスヘシ人吉ヨリ車馬ヲ通スヘキ道路アリ

順位一、一九九 元調査局地點一四九〇ヲ下ニ延長セル
モノナリ水路ハ左岸ニトルヘシ其ノ他前地點ニ同シ

順位一二〇〇 元調査局地點一四九一ヲ延長セルモノ
ナリ葛ノ下左岸ヨリ支流合流スル所ニ取入ル水路ハ左岸
ニトルヘシ其ノ他前地點ニ同シ

第二十八章 氷川水系

一、流域

(一) 地形 氷川水系ノ流域ハ熊本縣ノ中部ニ位シ八代郡
ノ一部ヲ占メ其ノ形菱形ニ近ク東西六里南北四里ニ亘リ
面積一二方里アリ

モノ一ハ其ノ南方ニアリテ栗木村二重附近ヨリ河俣村久

木野附近ニ及ヘルモノニシテ相平行シテ南西ニ延ヒ球磨
川流域ニ至リテ相合シ遂ニ天草諸島ニ及ヒ主トシテ泥板
岩及砂岩ノ互層ヨリ成リ又石灰岩アリ

流域ノ西部一帶ノ平野ハ沖積層ヨリ成レリ而シテ是等
ノ沖積層ノ平野ニ臨ミ山岳部ノ西邊ヲナス所ニ狭小ナル
花崗岩アリ

(三) 林野狀態 本流域ハ林野狀態ヨリ海岸部及山間部ノ

ニミ大別スヘシ山間部ニ於テハ流域ノ南邊球磨川水系ト
ノ分水嶺ヲナス六本杉、大通越附近一帶ニハ國有林アリ其
ノ一部ハ北方ニ延ヒ矢山嶺ヨリ南種子山村附近ニ至ルマ
テ流域ノ中央ナル山岳ヲ掩ヘリ。又流域ノ北部白山嶺釋
迦院附近ニモ國有林アリ是等ノ内六本杉、大通越附近ハ針
葉樹林ナルモ其ノ他ハ潤葉樹林ニシテ狀態相當良好ナリ。
山間部ニ於ケル是等國有林ヲ除ケル部分ニ於テ南種子山
村北種子山村等ニ於テハ河岸ニ少許ノ平地アリテ水田及
畠烟アレト其ノ他ノ山岳丘陵ニ於テハ切替烟燒烟ト山林
ト交錯ス而シテ自然林ハ伐材盛ナレハ狀態良好ナルモノ
等ニ於テハ松多ク杉ハ極メテ少シ

熊本通信局区内 第二十八章 氷川水系

海岸部ノ平野一帶ニハ水田連レリ

(四) 氣象 本流域ニ於テハ氣象觀測セル資料殆ドナクヒ
トモ年平均氣溫ハ河口附近一六度許ヨリ山間部ハ一二度
餘ノ間ニ在ルヘシ海岸部ニ於テハ年雨量一六〇〇耗降雨
日數一二〇日許ニシテ上流ハ資料ナケレトモ年雨量二五
〇〇耗降雨日數一八〇日許ナルヘシ

(二) 地質 本流域ノ大部分ハ九州山系ヲ作レル古生層ヨ
リ成リ該層ハ主トシテ砂岩、硅岩、粘板等ヨリ成レリ而シ
テ該古生層ノ地溝ヲ埋メテ展延セル二條ノ白堊系アリ其
ノ一ハ下嶺村ヨリ南種子山村ニ至ル間氷川本流ニ沿ヘル

本流域ヲ分テリ是等ノ山岳中北部ノモノハ急峻ナレト六
本杉附近ニ至レハ高原性ヲ帶ヒ端海野ノ如キヲ現出シ大
通越ノ西部ニハ高サニ、〇〇〇尺内外ノ山岳連リ球磨川ト
サ三〇〇〇尺乃至四〇〇〇尺ノ連嶺ヲナシ球磨川水系ト
ノ流域ヲ分テリ又流域ノ北部ニハ山岳連亘スレ
本杉附近ニ至レハ高原性ヲ帶ヒ端海野ノ如キヲ現出シ大
通越ノ西部ニハ高サニ、〇〇〇尺内外ノ山岳連リ球磨川ト
現山アリ連嶺ヲナスコトナク氷川ノ支流ニ分タレ分立ス
皆急峻ニシテ河岸ニ迫レトモ最高峯矢山嶺スラ高サニ〇
〇〇尺ニ達セシテ二〇〇〇尺以下ノモノ多ク地形稍錯
伏セリ。是等ノ山脈ニ圓マレル流域内ニハ山岳連亘スレ
ノ流域ヲ分テリ又流域ノ北部ニハ山岳連亘スレ
低夷ナル丘陵アリ而シテ宮原ヨリ下ハ平野トナレリ

ノ流域ノ東南ニハ九州山系ノ主軸北東ヨリ南西ニ走リ
其ノ餘勢ハ下流ヲ除クノ外流域全部ヲ掩ヘリ
下益城、八代兩郡界ナル雁俣山ヨリ來レル九州山系ノ一
脈ハ郡界ヨリ南折シ笠ノ越、三本木崎、六本杉山、大通越等高
山起

通シテノ變化一般河川ト大體同シカルヘク流域面積一方
本河川ノ流量ハ之ヲ調査シタルコトナケレトモ一年ヲ

代灣ニ朝ス

本河川ノ流量ハ之ヲ調査シタルコトナケレトモ一年ヲ

里當ノ流量ハ球磨川水系ト大體程度ヲ同シクスルモノノ如シ

第二十九章 緑川水系

三、水利及治水 本河川ニハ大正五年十月十三日河川法
準用認可サレタリ下流部平野地方ニハ兩岸ニ堤防アリ洪

水汎濫スルコトナシ。水利事業トシテハ用水最主ニシテ
山間部ニ於テハ下嶽村和小路附近及南種子山村、北種子山
村内等所々取入口アレト大ナルモノナシ而シテ平野地方
ニ灌漑スルモノハ宮原町ノ上流及下流ニ取入レ灌漑反別

一ハ二、二一五町歩餘一ハ五三六町歩餘ナリ。本水系沿岸
ニハ木材ノ產アレト陸送ニ依ルヲ以テ流材ナシ。漁業ハ
鮎鱈ヲ主トシ年額三〇〇〇圓許ナリ。普通水車ハ所々ニ
アレト發電水力ハ既設並許可地點共ニナシ

四、水力地點 本河川ニ於テ水力ニ利用シ得ヘキハ下嶽
村和小路附近ヨリ北種子山村口ノ上迄ニシテ之ヨリ下流
ハ勾配緩ニ上流ハ水量少シ。此ノ部分ニ於テニ地點ヲ得
ヘキモ何レモ出力小ニシテサマテ有利ナラス

一、流域

(一) 地形 緑川水系ノ流域ハ熊本縣ノ中部ヲ占メ阿蘇、上
益城下益城、飽託ノ四郡ニ跨リ形狀長方形ニ近ク東西一二
里南北八里ニ亘リ面積七四方里アリ

本流域ハ九州山系ノ北側ト阿蘇火山ノ接スル所ニ當リ

地形地質共ニ複雜ナリ而シテ大體ニ於テ四種ノ部分ヨリ
成レリ其ノ一ハ阿蘇外輪山ニシテ其ノ裾野ハ流域ノ北東
部一帶ニ延展シ其ノ二ハ九州山系ニ屬スル山岳ニシテ流
域ノ南部ヲ限り其ノ三ハ古生層及片麻岩等ノ山岳ニシテ
流域ノ中部ニアリ而シテ其ノ四ハ河口附近ノ平野ナリ
阿蘇火山ハ流域ノ北東ニ巒エ其ノ外輪山頂ハ高サ三〇
〇〇尺内外ヲ保チ南ニ彎曲シ東西ニ延ヒ東ニ俵岳冠ヶ嶽
ノ側火山連リ白川ト流域ヲ分チ外部斜面ハ風雨ノ浸蝕ニ
依リ多數ノ丘陵ト溪谷トヲ生シ波狀ノ起伏相錯綜シ尙所
々熔岩ノ斷崖屹立スルアリ地形複雜ヲ極ムレト全體トシ
テハ緩傾斜ヲナシテ西ハ御船町附近ニ至リ南ハ續町附近

ヨリ綠川本流附近ニ至リ流域ノ東北部大部分ヲ掩ヒ尙北